

公益社団法人森林保全・管理技術研究所の概要

所在地	〒102-0085 東京都千代田区六番町7番地日林協会館 電話番号 03-5212-8148 FAX 03-6737-1237 Mail office@hozen-ken.jp HP http://www.hozen-ken.jp/
沿革	平成21年12月9日 森林保全・管理技術研究会設立 平成25年4月1日 一般社団法人森林保全・管理技術研究所に変更 平成27年4月1日 公益社団法人森林保全・管理技術研究所に移行
設立目的	森林保全・管理に関する調査研究、技術開発、技術情報の集積・分析、普及啓発等を行うとともに、森林技術者の技術の向上及び継続教育の支援等を推進し、もって国土の保全、森林・林業の発展、科学技術の向上に寄与する。
事業内容	(1) 森林保全・管理技術に関する調査研究、技術開発 (2) 森林保全・管理技術に関する資料・文献の収集、整理保存及びその集積・分析 (3) 森林保全・管理技術に関する情報提供、普及啓発 (4) 森林技術者の専門技術の向上及び継続教育に関する支援 (5) 技術者、研究者及び教育者等との連携による調査研究及び提言活動 (6) 行政施策又は社会貢献に資する公益性・中立性の高い調査研究、検査及び技術指導 (7) その他本会の目的を達成するための必要な事業



会長挨拶 太田猛彦 (東京大学名誉教授)

新たな「森林保全・管理技術」の構築に向けて

日本は水の国と言われ、豊富な雨量をもとに川は清冽に流れ、湖は満々と水を貯えている。一方、国土の3分の2が森林である我が国は森林王国である。里山から山岳地帯までの四季折々の森林風景は美しく力強い。

しかしながら、我が国は常に土砂崩れ、洪水等自然災害の脅威にさらされている。これも豊富な雨量、急峻な地形に立地する森林と深く関係していることは言うまでもない。

(公社)森林保全・管理技術研究所(以下、本研究所という。)は、このような我が国の自然特性を踏まえ、森林保全・管理技術に関する調査研究や技術情報の集積を行い、また、普及啓発、森林技術者の技術向上に寄与することをもって設立されたものである。

本研究所は、5年前、任意法人から出発し、その後一般社団法人化し平成27年4月1日に晴れて公益社団化を果たすことが出来た。これからの調査研究、技術開発として、①治山等山地災害対策技術、②水土保持技術の確立、③森林整備に関わる環境配慮、④里山整備、⑤高能率作業システムの開発、⑥森林調査におけるレーザー計測手法の開発等多岐にわたって推進し、また、森林保全・管理技術に関するデータベース化を進め、デジタル・アーカイブ開発や森林保全・管理専門技術者登録制度に着手する等積極的な活動を行うこととしている。

現在我が国の森林は明治、大正時代のかつてのはげ山から大きく変わり、人工林が成熟化しいわば森林飽和の状態にあると言える。しかし、その内実は森林管理の担い手である山村の疲弊による過疎化は止まらず、適正な森林管理が行われず、地球温暖化によると考えられる集中豪雨の頻発化により毎年のように山地災害が発生している。私はこれらの現状を「森林飽和」(NHK出版)と題し、出版をしたところ多くの皆様にご理解頂き7版を重ねることになった。

本研究所は、森林・林業の現状に即し森林保全・管理技術に対し知見を加え、国土の保全、森林・林業の発展、科学技術の向上に寄与することを目指すこととしており、新たな「森林保全・管理技術」構築に向けた活動に対し皆様方のご理解・ご協力を賜れればと思う次第です。(平成27年7月記)